



日によって寒暖差が激しく、体調を崩す子が増えてきました。インフルエンザも流行しています。手洗いうがいをして、予防に努めていきたいと思ひます。



生活発表会への取り組みが中心でした。桃太郎の劇に決め、毎日練習していましたが、初めての劇とは思えないくらい順調に練習を進められました。自分の役の特徴をしっかりと捉え、どうしたらその役に合う動きになるかを考え、アイデアを常に子ども達が出し合っていました。



声の大きさや早さ、観客から見やすい立ち位置、動きなど、劇にはたくさん意識しなければならぬ要素があります。私自身も指導して、難しいかなと思うようなことも、どんどん身に付け、吸収していってくれました。めきめき上達していく姿は、頼もしかったです。子ども達同士でも、互いに客観的に見てアドバイスしあったり、褒めあったりしていました。自分の役だけでなく、友達の動きにも関心を持ち、アドバイス出来るというのは、言われて出来ることではありません。それだけ、クラスというものを意識出来ている、発表を成功させたいという気持ちがしっかりと育っているということです。年長らしい姿がたくさん垣間見れ、感動しました。そういった練習の積み重ねが、本番の成功につながったと思ひます。



本番はもちろんですが、練習の中でもたくさん感動させられました。同じ役の子が欠席し、一人になってもちゃんとセリフをカバーして、堂々と演じる姿がたくさん役の中でありました。友達同士教えあう姿もあり、そんな姿に何度も泣かされました。素晴らしい劇でした。



・エピソード記録 **ダジャレってわかる？**

給食で“トック”という韓国のおもちのようなものがスープに入って出た日の会話です。

Aちゃん『これがトック？』

Bちゃん『ほんまや、おもちみたい！もっちもちー！！』

Aちゃん『あ、思いついた。もちがもっちもち』

Bちゃん『何が？』

Aちゃん『だからー、もちがもっちもち』

Bちゃん『…何が？』

Aちゃん『だーかーらー、“もち”と“もっちもち”が一緒やろ？』

Bちゃん『あ、ダジャレ？』

Aちゃん『そうそう！』



この二人のやり取り、笑いは一切なしで、ずっと真面目に話しているのが逆におかしかったのですが、私が笑ってしまうと会話が崩れてしまうと思ひ、こっそり聞いていました。

ダジャレ好きな男の子がいて、よくみんなの前で言っているの、ダジャレの仕組みは理解している子が多いですが、面白いものという捉え方ではなく、あくまで言葉遊びの一つとして捉えているようです。でも、ダジャレの仕組みを理解して、会話の中で思いつくというのはなかなか高度なことです、言葉への理解が進んでいることがよくわかります。

卒園まであと少し…

卒園まであと一か月をきりました。発表会が終わってからは、一気に卒園モードです。お世話になった先生方へのプレゼントを作り始めたり、合奏や卒園式の練習にも取り掛かっています。なんだか寂しいですが、みんなが自信を持って新たなスタートが切れるように、陰ながら応援したいと思ひます。

みんなにとって、保育園が楽しいものであったなら、こんなに嬉しい事はありません。最後まで楽しい保育園でありますようにと願ひを込め、また努めたいと思ひます。

3月の予定



- ・3月 1日 (火) 大浦小学校と交流会
- ・3月 3日 (木) ひな祭り
- ・3月 7日 (月) 体操教室
- ・3月 9日 (水) 交流給食
- ・3月18日 (金) 身体測定
- ・3月23日 (水) 交流給食
- ・3月25日 (金) お誕生会・お別れ会
- ・3月26日 (土) 卒園式
- ・3月31日 (木) 修了式

※忘れ物等がないように、ご確認下さい。

